

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

< 研究課題名 >

難治性黄斑円孔に対する網膜移植術

(Retinal transplantation for refractory macular hole)

< 研究期間 >

実施承認日～平成 34 年 4 月 30 日

< 研究の目的・意義 >

名古屋大学医学部附属病院においては 1 年間にあたり 10 名前後の方が難治性黄斑円孔として受診されると試算しています。そこで、この難治性黄斑円孔症例に対し網膜移植術を行い、その手術成績を評価することがこの研究の目的です。

< 研究方法 >

実施承認日から 2021 年 4 月 30 日の間に名古屋大学医学部附属病院を難治性黄斑円孔で受診された患者さんのカルテ情報を使用します。具体的には当院で行った眼科手術の成績を記録し分析します。研究のために検査を追加するなど、患者さんの負担となるようなことは行いません。集められた情報を解析し、難治性黄斑円孔に対する網膜移植術の術後成績について、検討させていただきます。

< 予測される利益・不利益について >

網膜移植術は今後広く認められる可能性を持った治療法であり、網膜移植併用硝子体手術によって術前より視機能が向上する可能性があります。

手術前、手術後に網膜の厚み、網膜血管を調べる眼科的検査を行います。これらの検査に侵襲はありませんので、本試験に参加することにより体への負担が増えることはありません。

< 本研究の実施について >

この研究は名古屋大学生命倫理審査委員会の承認を受けたうえで行われます。

もしも患者さんがこの研究へのご自身のカルテ情報の利用を望まれない場合には、この研究には使用いたしませんので、下記連絡先までご連絡・ご相談ください。

しかしながら解析終了後または学会・論文での発表後には、データを削除できないことがあります。

連絡先：

名古屋大学医学部附属病院眼科

研究責任者名：兼子 裕規

住所 名古屋市昭和区鶴舞町65

電話 052-741-2111(代表)

FAX 052-744-2278

苦情の受付先：

名古屋大学医学部経営企画課

電話 052-744-2479

<個人情報の保護について>

研究に用いるカルテ情報は全て匿名化して誰の情報かわからないような形にしてから解析を行います。したがって患者様の個人情報に他に漏れる心配はありません。匿名化されたデータやその他の解析資料等は、研究終了後5年間を経過した後、破棄いたします。患者さんが拒否できる機会を保障した上で研究を実施します。

<費用について>

この研究に関して、患者さんへ追加でご負担いただく費用はありません。また謝礼もございません。